津山朝日新聞 2016年(平成28年) 10月17日 (月曜日)

津山朝日新聞
夕刊
津山朝日新聞社
岡山県津山市田町13
電話0868－22－3135

「津山まつり」開幕

黄金色の大みこし勇壮

大隅神社例祭 だんじり統一行動

勇壮に練る大隅の大みこし＝中之町で

「津山まつり」が16日、大隅神社（上之町）の例祭で開幕した。黄金色に輝く大みこしとだんじり3台が繰り出し、市内東部は終日まつりばやしが響いた。

みこしの担ぎ手は、鳥取神輿連合会のメンバーや氏子青年ら約120人。交代で約70人が肩を入れ、「ホイットー、ホイットー」の掛け声で、氏子町内を半日かけて勇壮に練った。

みこしを修復した7年前から参加している光岡製作所（福力）のインドネシア人実習生。今年は14人のうち希望する12人で、初めてのサルヨノさん(26)は「とても重いけど、日本文化を体験、交流でき楽しい」とにっこり。

だんじりの出動は裏年にあたり、川崎、太田、東新町の3台が旧出雲街道を往復する統一行動。沿道の声援に応えて、「ソーヤレ」の掛け声と鐘、太鼓を響かせ駆け抜けた。

だんじりが集結したイーストランド駐車場（川崎）に、みこしが入場、高々と突き上げて回されると、歓声と感嘆の声が上がった。このあと、太鼓と日本舞踊、傘踊りが披露され、観衆から盛んな拍手が送られた。

家族4人の日上の会社員・須江稔さん(39)は「徳守まつりは見たことがあるが大隅は初めて。みこしは輝きがすばらしく、迫力満点。だんじりも楽しめた」と満足そう。

津山まつりのフィナーレは23日に、徳守神社（宮脇町）と高野神社（二宮）の例祭がある。

山陽新聞 2016年(平成28年) 10月25日 火曜日

作州ワイド版

津山まつりフィナーレ

徳守神社 高野神社 掛け声、笑顔広がる

「津山まつり」のフィナーレを飾る徳守神社（津山市宮脇町）と高野神社（二宮）の秋祭りが23日、行われた。血気盛んな男衆の威勢の良い掛け声と、子どもたちの笑顔が城下町に広がった。

津山の総鎮守・徳守神社の祭りは、歩行者天国となった市中心部の奴通りをメイン会場に開かれ、県重要有形民俗文化財10台を含む計12台のだんじりが次々と集結。重さ約1㌧で「日本三大みこし」とされる黄金のみこしが姿を現すと、集まった観客から「おぉー」とどよめきに近い歓声が沸き起こった。

「津山情緒保存会」による手踊りと、「備州岡山城鉄砲隊」による火縄銃演舞も祭りムードを演出。家族や友人と訪れた会社員弟子丸香織さん(34)＝中島＝は「輝くみこしの堂々たる姿はさすが。今年も津山の秋を楽しめた」と話した。

高野神社の祭りには、だんじり11台が出動。近くの商業施設でイベントが行われ、集まっただんじりの前で地元の津山西中の吹奏楽部が「ふるさと」や「ルパン三世」テーマ曲などを披露した。（竹久祐樹）

「わっしょい、わっしょい」。法被姿の男衆は威勢の良い掛け声を上げ、徳守神社の黄金みこしを担いだ＝奴通り

高野神社のだんじりを前に、演奏を披露する津山西中の吹奏楽部員＝津山市二宮

祭りムードを盛り上げた津山情緒保存会による踊り。かわいらしい踊り手の登場に、見物客も目を細めた＝奴通り

商店街のアーケードを駆け抜け、奴通りに登場しただんじり。引き手は機敏なジグザグ走行を見せ、見物客を沸かせた

津山朝日新聞 2016年(平成28年) 10月24日 (月曜日)

津山朝日新聞
夕刊
津山朝日新聞社
岡山県津山市田町13
電話0868－22－3135

津山まつり勇壮フィナーレ

徳守神社と高野神社

三大みこしの一つ練る

勇壮に練る大みこし＝西今町で

「津山まつり」の最後を飾る徳守神社（宮脇町）と高野神社（二宮）の例祭が23日にあり、だんじり計24台が出動。徳守は日本三大みこしの一つといわれる大みこしが氏子町内を勇壮に練った。

徳守は、重さ約1㌧のみこしに氏子青年ら担ぎ手180人が半分交代で肩を入れ、「ワッショイ、ワッショイ」。

だんじり12台が統一行動し、「ソーヤレ」と元気いっぱいの掛け声と鐘、太鼓を響かせながら練り歩き、催し会場の奴通り（岡新座）に集合、整列した。

会場では田町大人奴行列が見事な毛やりさばきを披露。津山情緒保存会の9連約100人は「津山流し」など3曲を踊った。津山城完成400年記念「津山総鉄（はらい）神事」には、津山城鉄砲隊と岡山城鉄砲隊が火縄銃の発砲演式。岡山城は甲冑（かっちゅう）姿の撃ち手23人が豪快な音を響かせ、観衆から盛んな拍手を浴びた。

家族4人連れの河辺の水島琉登君（河辺小5年）は「みこしはすごかったけど、火縄銃はちょっと怖かった」と話した。

だんじり11台列つくる

鐘や太鼓の音、威勢よい掛け声 地域熱気に包む

高野は、だんじり計11台が、子どもたちの元気な「ソーヤレ」の掛け声と太鼓に合わせて練り歩き、地域を熱気に包んだ。

二宮のウエストランド駐車場に、ちょうちんなどで飾り立てただんじりが集結。正午過ぎ、法被をまとった住民たちに引かれて神社のある東に向かって出発し、大行列をつくった。太鼓をたたいた山西町内会の小椋綾花さん(12)＝向陽小6年生＝は「地域の伝統行事に参加でき、誇らしい」と笑顔で話した。

また、同駐車場では、津山西中吹奏楽部の演奏や住民有志による傘踊りなどがあり、境内では獅子舞や浦安の舞を奉納。鳥居近くにある「宇那提森」のお旅所まで、傘鉾（かさほこ）の御神幸が行われた。

大行列をつくって練り歩くだんじり